

最近の雇用情勢について

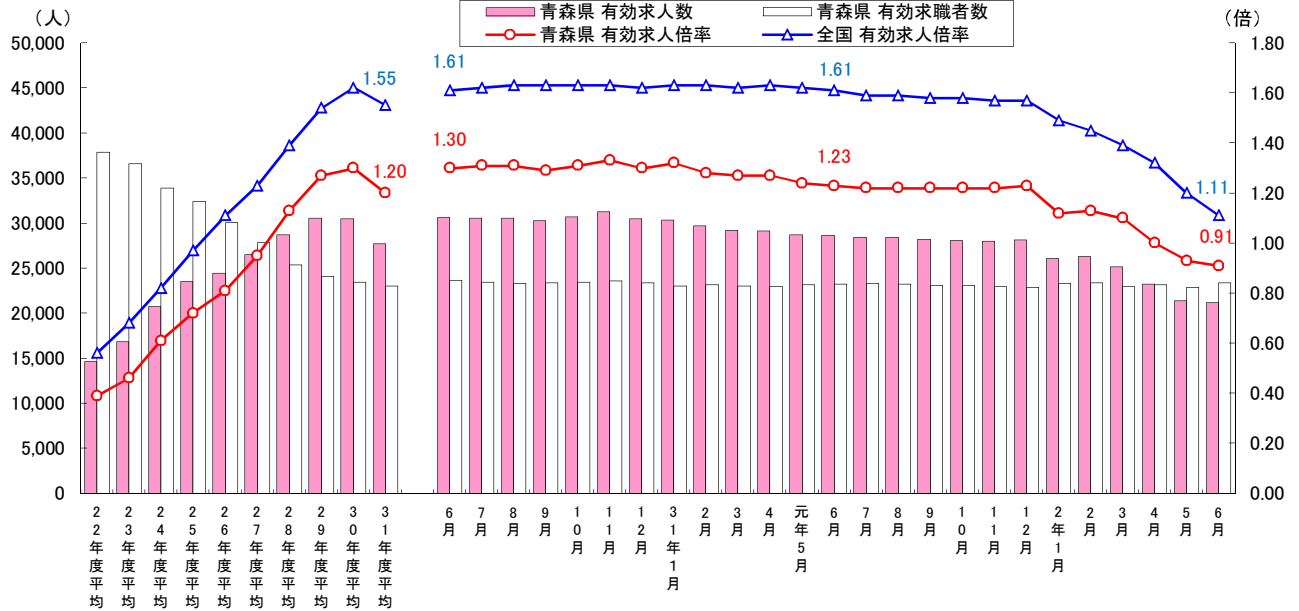
(令和2年6月)

青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

6月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ1.0%減少し21,170人、有効求職者数（同）は2.2%増加し23,367人で、有効求人倍率（同）は0.91倍となり、前月を0.02ポイント下回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は0.99倍で前月に比べ0.03ポイント下回り、受理地別の倍率を0.08ポイント上回った。

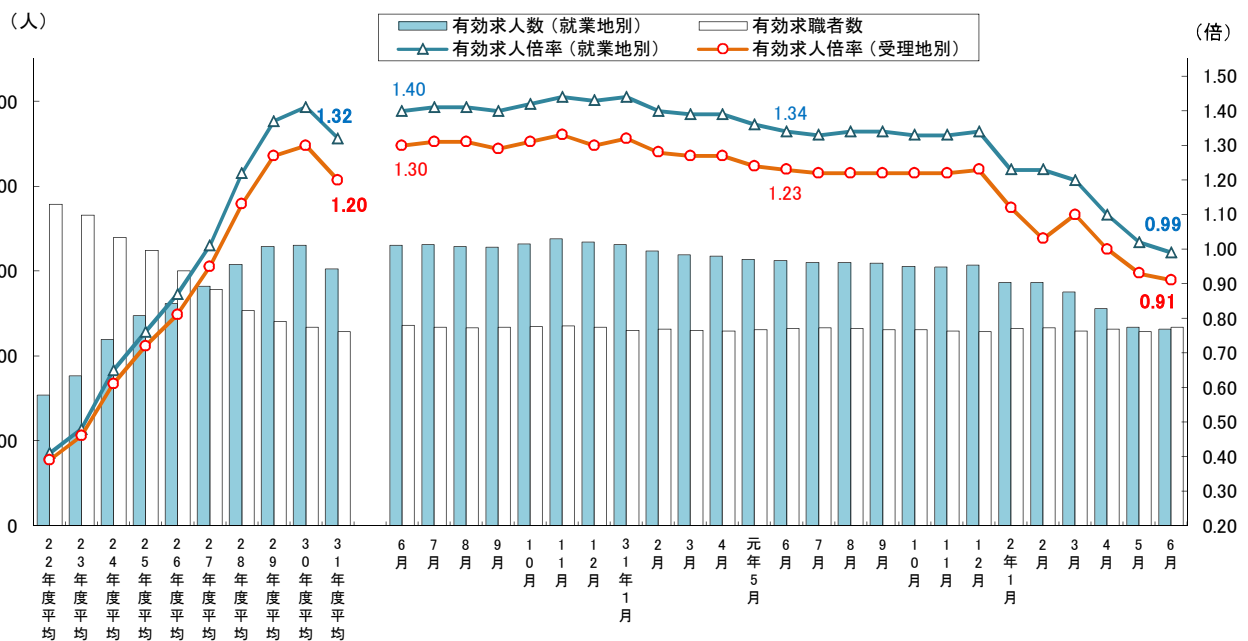
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



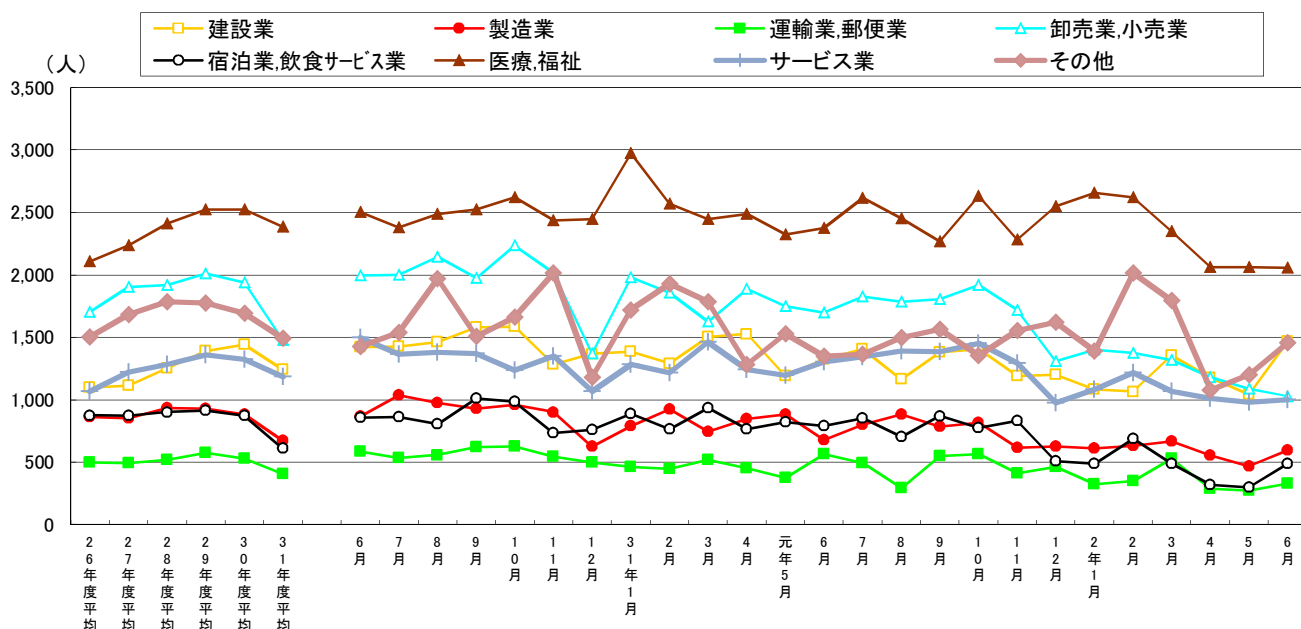
全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

6月の新規求人数(原数値)は前年同月比16.5%(1,667人)減少の8,406人。
 主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、建設業で増加し、製造業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、その他の製造業で増加したが、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業で減少した。



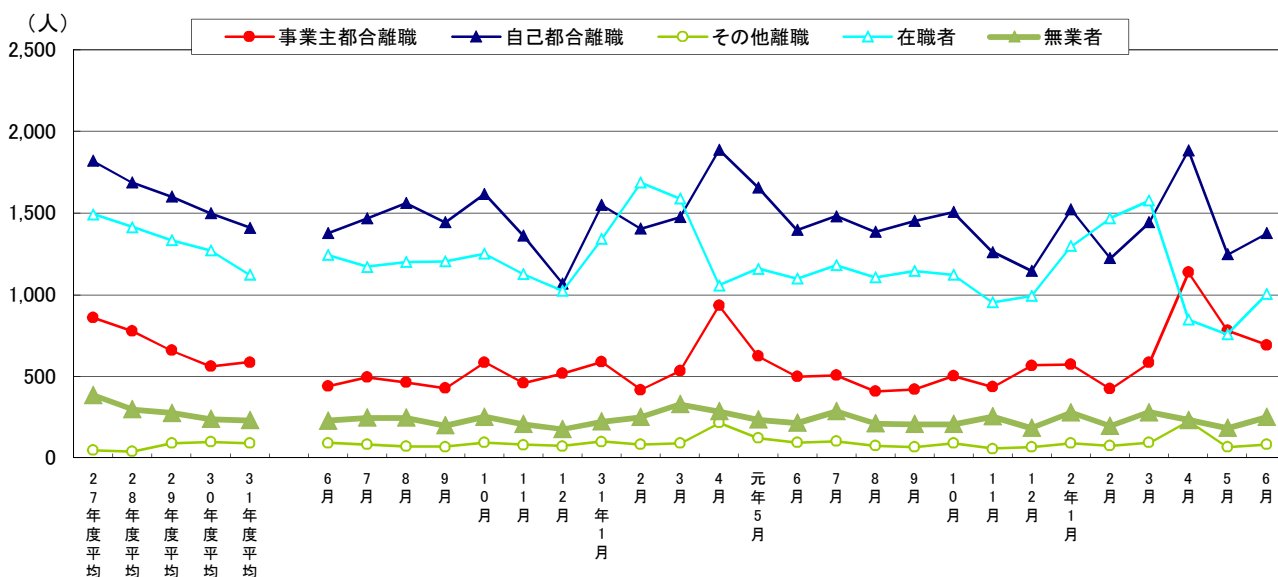
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

6月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比3.1%(103人)増加の3,402人。

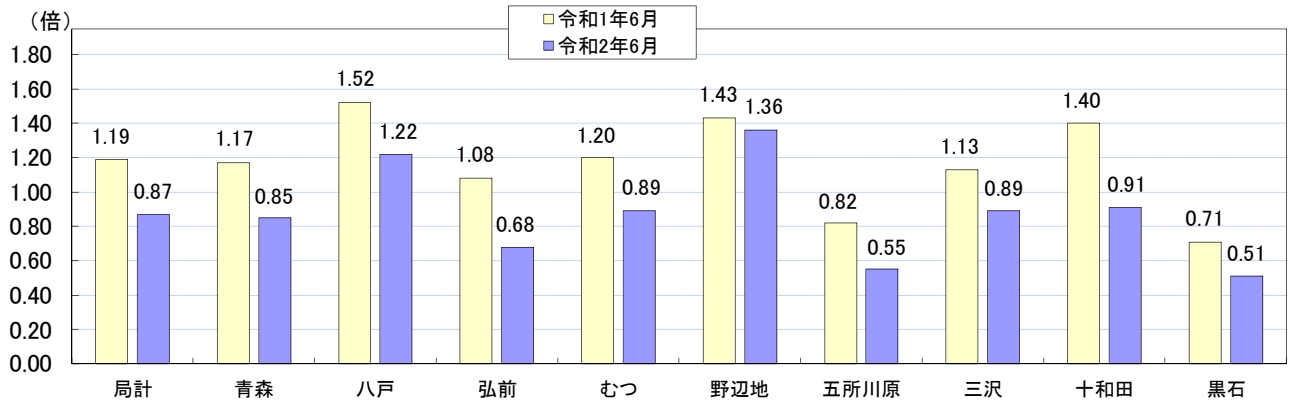
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は8.6%(94人)減少、無業者は15.3%(33人)増加、離職者は8.3%(164人)増加となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比38.8%(193人)増加、自己都合は同1.4%(19人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

6月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.87倍となり、前年同月より0.32ポイント低下した。
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.6	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,110	5,645	5,265	5,012	1,063	761	2,421	1,298	1,160	1,485
有効求人数	20,897	4,792	6,419	3,395	942	1,036	1,339	1,159	1,053	762

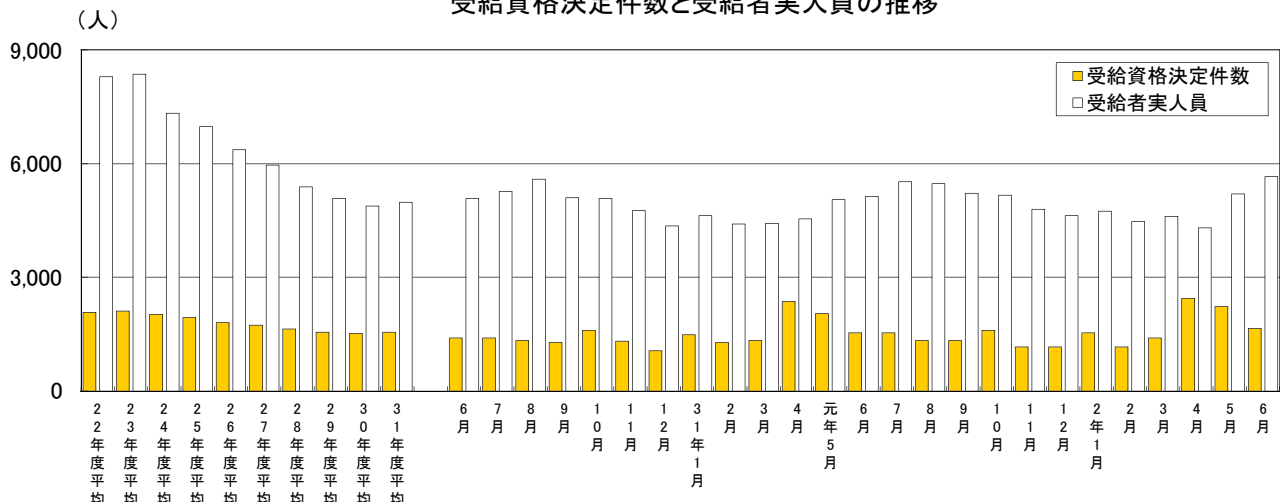
(単位:人)

V 雇用保険の状況

6月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比10.0%(514人)増加、前月比では8.6%(448人)増加の5,650人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.0%(137件)増加、前月よりも25.2%(562件)減少し1,651件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比62.8%(155人)増加、前月比24.9%(133人)減少し402人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

